

第4回議会報告会質疑応答記録（概要）

平成25年4月22日（月） 午後7時から

地区名 檜川地区

◎議会報告（信州Fパワープロジェクト）

Q1 市民

- ・信州Fパワープロジェクトに議会としての取り組み体制は。

A 永田議長

- ・議会は経済建設委員会で担当し、議員全員協議会で意見等を出し合います。市有地を、定期借地契約を結び、29年間賃貸料が塩尻市に入る。
全国初の取り組みで、熱利用に関して、コスト面で課題があります。
雇用面では、全体で400名が見込まれます。今後必要であれば、議会側の組織を立ち上げたい。議員全員協議会で議論します。

Q2 市民

- ・行政と同時に、議会も研究委員会を立ち上げたらどうか、市と議論して欲しい。

A 永田議長

- ・この事業は、県と民間企業が主体で、市は、土地の有効活用で、金にならない山を金に換えて行く。
今後、特別委員会を設けるか検討したい。

Q3 市民

- ・原木の確保は繋がって行くか。

A 永田議長

- ・搬出範囲を、30km、50km、100kmと随時拡大搬出し、県森林組合が調達します。県森林組合の試算では、毎年、成長木が200万m³/年ですから、80%伐採しても対応できる。

◎意見交換会

Q4 市民

- ・檜川診療所の指定管理者制度について、医者に施設を貸して経営権を任せることで良いのか。出来れば、市営で信頼できる医師にやって欲しい。
採算が合わないので指定管理者にするというのはおかしい。

A 中原巳議員

- ・市内に、檜川と両小野に診療所が在り、両小野施設は、経営が厳しく指定管理に出せない。
指定管理は、市が委託し、高齢の先生の負担を軽減するため、他の大きい病院等へ依頼して行くので、サービスの低下ではない。

A 森川議員

先生が高齢で、5年から10年先が心配であり、何かあったときに、すぐ代わりの先生を確保することは、困難で、大きな病院にお願いして行く。最終判断は、これからで、市が手を引くということではないので、ご理解をお願いしたい。

Q5 市民

・行政が手を引くという考え方もあり、無医村にならないようお願いしたい。要望です。

Q6 市民

・サルやイノシシの害を防止するため、牧柵や電気柵をやる計画で、市の補助制度を確認したところ、材料費の補助が、個人が1/2、3人以上が2/3という説明だったが、専門の人工賃は補助対象外との説明だったが、対象にならないか。

A 中原輝議員

・要望に対して、議会も努力します。

Q7 市民

・財務省の方針で、国家公務員宿舎の半減が示されているが、贄川・奈良井森林事務所の宿舎も廃止の対象となっている。

そこは、平成22年、3,000万円を掛けて完成したばかりで、また、国有地も1,200ha有るので、機能を残すよう国等へ働きかけて欲しい。

Q8 市民

・官行造林の檜川3地区の契約解除期限が、平成26年3月31日に迫っている。林野庁との当初契約以降、90年間続いてきたもので、保安林、水源涵養林の役目を担っており、松塩用水の水源でもあり、契約の延長を、国や県に働きかけて欲しい。

A 永田議長

・官行造林について、中部森林管理局では、買って欲しい、との意向もあり、本来は国策事業であり、面積1,173haの山林であり、国がどのくらいで買えとっているのかわからない。市長に要望書も出ている。

森林事務所の機能存続も含め、解決に向けて、国等へ、議会として請願や陳情の方向で研究して行く。

Q9 市民

・「市議会だより」に生活保護費について掲載されていたが、生活保護について状況はどのようなのか。

A 中原巳年男議員

・1月末の受給者は、235世帯345人(5.1%)です。とりわけ、65歳以上の高齢世帯の医療扶助と健康で職が無く働けない、その他世帯で60%以上占めている。

Q10 市民

・市のドーザーの貸し出しについて、是非、山間地の檜川地区にお願いしたい。

A 中原輝議員

・貸し出しに係わることは、具体的に決まってない。

Q11 市民

・塩尻市のまちづくりについて、ロマン大学院の活性化に係わる意見や提言では、えんば一くの屋上に露天風呂とか、塩尻の観光土産になるようなお菓子が無いなど。昔、「遺跡

最中」を作った例があり、何か簡単なものが考えられないか。

A 永田議長

- ・提言書を頂いたが、発想がユニークで、えんぱーくの屋上の露天風呂や、高ボッチ高原にロープウェーを設置する案も聞いているが、現段階の実現は難しい。お菓子も、過去にナイアガラロマンを作ったが売れなかった。